

製品名: CREM ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09388**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CREM
別名	CREM; cAMP-responsive element modulator; Inducible cAMP early repressor; ICER
遺伝子 ID	1390.0
SwissProt ID	Q03060
免疫原	抗血清はヒト CREM 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 81-130

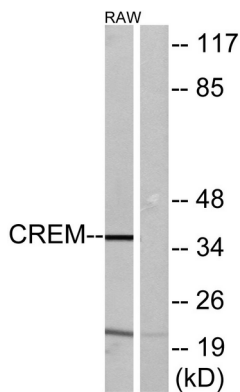
背景

cAMP 応答配列モジュレーター (CREM) Homo sapiens この遺伝子は、多くのウイルスおよび細胞のプロモーターに存在する cAMP 応答配列に結合する bZIP 転写因子をコードしています。これは、精子形成周期における cAMP を介したシグナル伝達、ならび

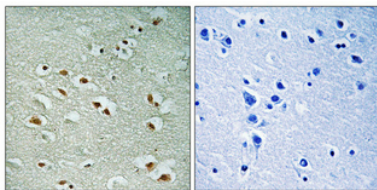
にその他の複雑なプロセスにおいて重要な構成要素です。代替プロモーターおよび翻訳開始部位の利用により、この遺伝子は cAMP 応答性に対して空間的および時間的な特異性を発揮することができます。この遺伝子には、複数の異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっており、それらの一部は転写の活性化因子として、一部は転写の抑制因子として機能します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月];注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。機能: 多くのウイルスおよび細胞のプロモーターに存在する配列である cAMP 応答配列 (CRE) に結合する転写調節因子。アイソフォームは転写活性化因子または転写抑制因子のいずれかです。精子形成に関与し、精子細胞の成熟に関与する。PTM: リン酸化によって刺激される。配列注意: チロシンとして翻訳される。類似性: bZIP ファミリーに属する。類似性: 1 つの bZIP ドメインを含む。類似性: 1 つの KID (キナーゼ誘導性) ドメインを含む。サブユニット: 二量体として DNA に結合する。FHL5 と相互作用する。組織特異性: 精巣 (円形精子細胞) に発現する (タンパク質レベル)。アイソフォーム 14 は精巣における主要な活性化因子である。

研究分野

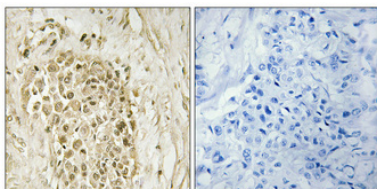
画像データ



CREM 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。